

江南区自治協議会通信

ホームページ：<http://www.city.niigata.lg.jp/konan/torikumi/kyougikai/index.html>

編集・発行：新潟市江南区役所
江南区自治協議会
〒950-0195 新潟市江南区泉町3-4-5
電話：025-383-1000(代表)
FAX：025-381-7090

区自治協議会は、区の特徴を活かした魅力あるまちづくりを進めるため、地方自治法に基づいて設置された市の附属機関です。市民と行政をつなぐ「協働の要」として、区民に身近なまちづくりや地域課題の解決のため、多様な意見の調整や取りまとめを行うことと、総合計画等の計画や公共施設の設置、廃止などに関して、市長やその他の市の機関から諮問されたものについて意見を述べる審議機関という大きな2つの役割があります。

委員は、地域のコミュニティ協議会や公共的団体等からの選出者、学識経験者、公募、市長が必要と認めた人の30人で構成されています。会議は月に1回開催し、必要なときには部会も開催しています。区の課題など自治協議会自ら必要と認めるものについて、審議し、意見を述べたりすることもでき、自主的な活動なども行っています。

区自治協議会の取り組み

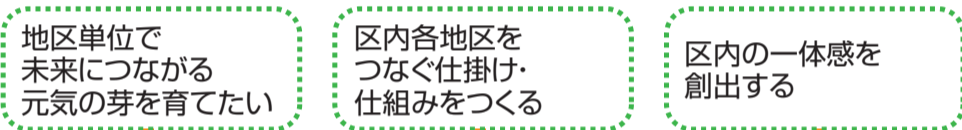
区自治協議会提案事業

超高齢社会を迎え、複雑・多様化する地域課題に対応し、市民力・地域力を活かしたまちづくりを進めるため、区自治協議会自らが企画提案し、主体的に取り組むを進めていくというものです。

江南区自治協議会では、地域の現状や将来像などを、子どもと一緒に学び・考える場を設け、取り組むことで、次の世代の担い手育成や、区づくりへの気運を高めることを目的に3つの事業に取り組んでいます。

裏面でその取り組みを紹介します。

事業の根本目的(事業理念)



地域の人々が安心・安全に暮らし続ける環境をつくりたい

これらの状況を実現するためには…

- ・まずは区の現状を知ること、他地区を知り合うことが必要
- ・子どもを巻き込み一緒になって取り組むことで、次世代の担い手育成や、区づくりへの気運を高めることが必要

まず取り組むべきこと…

地域の現状・将来像(夢)を、大人と子どもが一緒になって、学び・考える場を設ける

事業①
市民活動見本市
プロジェクト

事業②
子ども会議
プロジェクト

事業③
命を守るまちあるき
プロジェクト

区ビジョン策定のためのまちづくりワークショップを開催

1 区ビジョンまちづくり計画とは

区ビジョンまちづくり計画は、新・新潟市総合計画(平成19～26年度)の一部である「区ビジョン基本方針」の実現に向け、市民と行政が共通の認識に立ち、協働でまちづくりを進めるために、区の具体的な取り組みをまとめたものです。

次期の区ビジョンまちづくり計画は、次期新潟市総合計画策定に合わせ、平成27年度から8年間を計画期間とし、平成26年度中の策定を目指します。

2 ワークショップの目的

総合計画及び区ビジョンに基づき、これまで実施してきた取り組みを振り返ることで、目指してきたまちづくりを検証。ワークショップにより、現状認識を行い、その後の次期総合計画や区ビジョンの策定に向けて、今後何をしていたらよいかなど意見を申し合いました。

3 ワークショップで出された主な意見

- 公共交通空白・不便地域の解消
- 既存公共交通網の利便性向上
- サイクリングロードの環境整備、イベント実施による一体感醸成
- 歴史・文化スポーツの振興と教育の向上
- 安心して安全に暮らせるまちづくり
- 中央卸市場を中心とした農水産物を通じた観光・交流

～ 区ビジョンまちづくり計画に向けて～

江南区自治協議会 会長 豊岡 克



区自治協議会は平成19年4月に設置以来、7年目を終えようとしています。その間、区内の一体感醸成の為に、歴代各委員、そして区民の皆様方のご指導を戴きながら活動して参りました。改めて厚く御礼申し上げます。

平成20年に策定された、亀田・横越地区の合併建設も含まれております区ビジョンまちづくり計画も、次年度平成26年度で7年間が終了いたします。私共自治協議会では、平成27年度からの次期「区ビジョンまちづくり」計画を策定するにあたり、第1回のワークショップを1月に開催いたしました。区の将来像「緑と調和した安らぎのあるまち」を目指し、「区ビジョン基本方針」を踏まえた、区の具体的な取り組みについてグループ毎に様々な意見を交換した所であり

今後も議論を重ね、安全で安心なまち、住み良いまちづくりに努めて参りますので、区民の皆様方のより一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。



市民活動見本市プロジェクト

江南区の各地域の市民活動の情報を集め、皆さんに広く紹介するとともに、市民活動を行っているそれぞれの地域が、他の地域の活動を知り、これからの活動に還元されていくことなどを指す取り組みです。

今年度は、昨年度作成した、区内各地域で行われている市民活動を紹介するパネルを、イベントや人の集まる場所に掲示してPRしました。

平成25年度 実施状況

ふれあいさくらまつり、アスパークまつり、おもっしえぞ阿賀野川、アピタ新潟亀田店内、大淵小・亀田東小・亀田小・東曽野木小の文化祭等で紹介しました。

プロジェクト委員

岩瀬耕一・五十嵐ノブ子・佐藤正明・八幡昭雄・豊岡克・小林勲・本間弘・虎澤栄三・白川進・田邊由美子

プロジェクトを振り返って

まちづくり部会では、今後の地域活動の参考にさせていただこうと、昨年度制作した市民活動紹介パネルを江南区内の小学校の文化祭などで掲示させていただき、多くの皆さんに見ていただく活動をしてきました。江南区内に

も地域の特徴のある多くの活動があることを紹介できたのではないかと思います。

また他の活動として、われわれの住む地域は大型店が多く進出し、新潟市の中心になろうかという発展をしている一方で、周辺部の地元スーパーなどの撤退が相次いでおり、生活者の急速な高齢化と相まって、様々な不便が生じているのではないかと疑問が出されたことから、どのようなことを住民の皆様が望まれているか調査し、今後のまちづくり部会の活動や行政の進むべき方向の参考にすることになりました。現在曽野木地区を対象にアンケート調査・集計を行っており、結果が出ましたら来年度以降の活動予定の参考にすることとしています。(部会長:岩瀬耕一)



子ども会議プロジェクト

子どもたちが区内の現状や課題、地域の取り組みなどについて大人と一緒に考える機会を持つことで、自分たちの地域に関心を持ってもらい、また“子どもの視点”からの意見を、江南区のまちづくりに取り入れようという取り組みです。

平成25年度 実施状況

参加小学校	実施日	参加人数	主な意見
丸山小学校 大淵小学校	10月5日	43人	・みんなが元気にあいさつできる町 ・ごみの分別ができる町
曽野木小学校 東曽野木小学校	11月30日	63人	・ごみのないきれいな町にしたい ・公園がたくさんあるといいな

プロジェクト委員

本間一人・湯田昭子・佐藤洵吉・比企裕子・小林修一郎・渋谷健文・福岡博子・市川京子・熊谷絵里子・今井麻奈美

プロジェクトを振り返って

今年度2回開催した子ども会議プロジェクトですが、各委員も忙しい中、運営スタッフとして多く参加いただきました。

ワークショップでは、運営スタッフの予備知識として、もう少し自分自



身の地域のことを考えてから参加すれば、子どもたちの話をもっとうまく導きだせたと思います。

子ども目線で自分の生活圏を見たとき、何がよくて、何を改善すべきかを考えてもらう中で、大人に対する要望や日頃から気をつけなければならないことに気づいたりする良い機会になったと思います。

このプロジェクトで出てきた意見などを何かの機会に地域にお知らせすることで、それぞれが出来ることはそれぞれで実行してもらい、時間や予算のかかるものについては、今後の自治協議会(部会)の活動に活かしていきたいと考えています。そうすることで、「あなたたちの意見がこのように区政に反映され、地域がよくなったよ。」といえるそんな子ども会議にしていきたいものです。(部会長:本間一人)



命を守るまちあるきプロジェクト

「安心・安全」をテーマとしており、子どもをはじめ、地域の皆さん自身で標高を調べることにより、改めて地域の地勢や成り立ち、歴史などを知り、自分たちの住んでいる場所の安全性、特に水害に対してへの関心を高めようというものです。

まちあるきを行いながら、学校や公園など地域の要所で実際に標高を測量し、実施した場所には、順次、右のような看板を設置いたしました。

平成25年度 実施状況

参加小学校	実施日	参加人数	計測箇所
亀田西小学校	7月17日	148人	5箇所
横越小学校	9月10日	141人	5箇所
両川小学校	9月20日	39人	2箇所
亀田東小学校区コミュニティ協議会	10月26日	61人	6箇所
東曽野木小学校	11月5日	58人	2箇所
亀田小学校	11月8日	101人	4箇所

プロジェクト委員

目黒勝・小林良子・中野高子・石井久以知・石田勇雄・阿部由幸・藤崎昌彦・若槻宏子・小池豊・佐藤信三

プロジェクトを振り返って

昨年の継続事業として江南区内10小学校のうち、未実施5校を対象に、学校側と日程調整を行い全校の測量体験を終えることができました。

高学年の実習教育の一環として命の大切さ、地域を知る、自然災害対応等を学ぶ重要性が校長会議の場で議論され学校側の理解と協力により無事終了して感謝しております。

現在、区内小学校にアンケートをお願いして新年度の希望などを取りまとめ、学校側の要望に沿ってより充実した活動を続けてまいります。(部会長:目黒勝)

